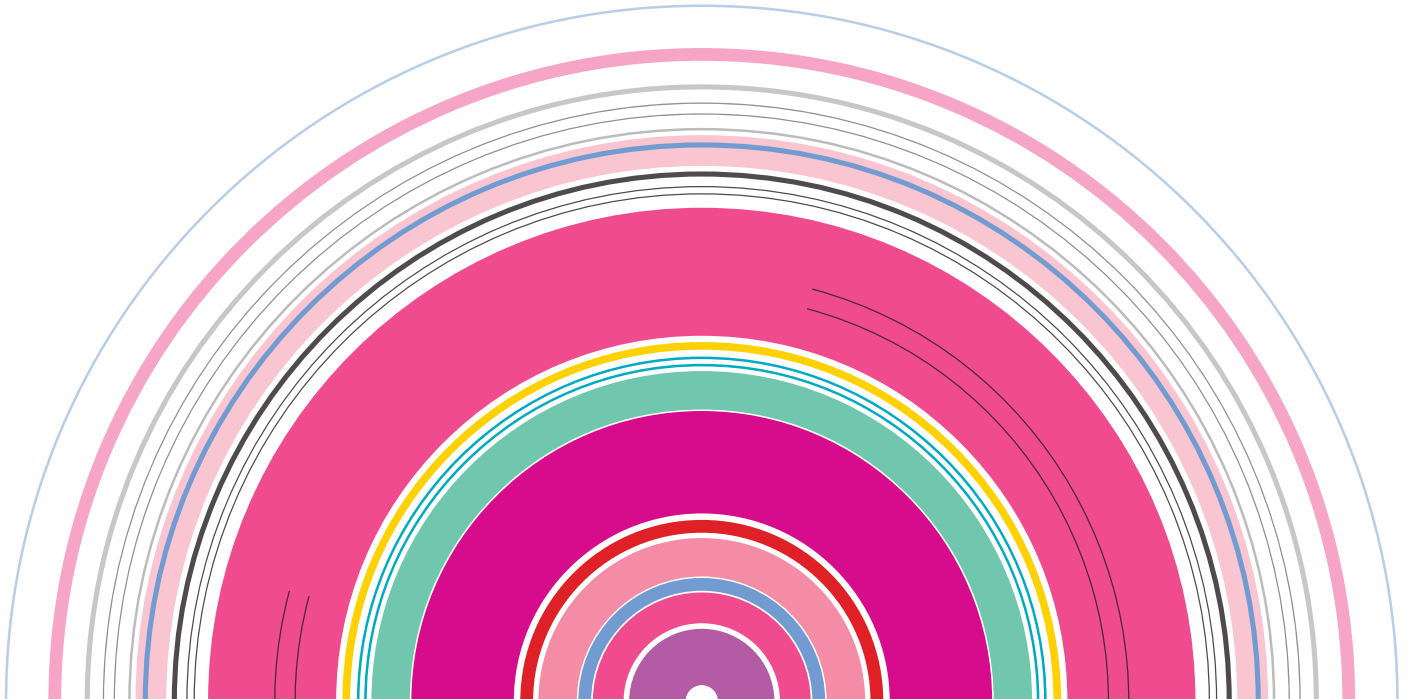


国際交流基金日本語国際センター 25周年記念シンポジウム

# 課題遂行を出発点とした言語学習デザイン —『まるごと 日本のことばと文化』の挑戦—



日時：2015年2月1日（日）10:30～17:00

会場：国際交流基金日本語国際センター 佐藤ホール

埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36（JR 京浜東北線 北浦和駅 西口徒歩 8分）

<http://www.jpff.go.jp/j/urawa/> Tel:048-834-1181

.....プログラム.....

[セッション1] 「JF 日本語教育スタンダード」の理念と日本語コースブック『まるごと』の開発

来嶋洋美・磯村一弘・藤長かおる（国際交流基金日本語国際センター）

[セッション2] 海外の JF 日本語講座における『まるごと』の実践

カルメンシータ・ケオラニ・C・ビスカラ（国際交流基金マニラ日本文化センター）

西山恵子（国際交流基金シドニー日本文化センター）

[セッション3] パネルディスカッション：課題遂行を出発点とした言語学習デザインの可能性

投野由紀夫（東京外国語大学）

山内博之（実践女子大学）

横山紀子・来嶋洋美・磯村一弘・藤長かおる（国際交流基金日本語国際センター）

.....申込方法.....

①氏名、②所属、③連絡先をご記入の上、Eメールかファックスでお申込みください。

※参加申込の際にいただいた個人情報は本シンポジウム以外の目的では使用いたしません。

E-mail: [choken@jpff.go.jp](mailto:choken@jpff.go.jp) Fax:048-834-1170

※参加費無料

## 当日のスケジュール

10:00 受付開始

10:30 開会

10:35-11:00

### 趣旨説明

(横山紀子／国際交流基金日本語国際センター)

11:00-12:30

### [セッション1] 「JF 日本語教育スタンダード」の理念と日本語コースブック『まるごと』の開発

課題遂行を出発点とした言語学習デザインが『まるごと』においてどう実現されているか、教材開発担当者から説明します。

- 入門・初級教材における相互理解のための課題遂行 (来嶋洋美／国際交流基金日本語国際センター)
- 「自立した言語使用者」を育てる中級教材の開発 (磯村一弘・藤長かおる／国際交流基金日本語国際センター)

12:30-13:30 休憩 ※食堂をご利用いただけますが、席数に限りがありますのでご了承ください。

13:30-14:40

### [セッション2] 海外のJF 日本語講座における『まるごと』の実践

『まるごと』を用いたコースの工夫や成果について、JF 海外拠点の日本語講座で授業を担当した教師が報告します。

- 『まるごと』「かつどう」だけを使った入門・初級コースの実践  
(カルメンシータ・ケオラニ・C・ビスカラ／国際交流基金マニラ日本文化センター)
- 教室の内と外をつなぐタスクシートの試み  
(西山恵子／国際交流基金シドニー日本文化センター)

15:00-17:00

### [セッション3] パネルディスカッション：課題遂行を出発点とした言語学習デザインの可能性

投野由紀夫先生には、『英語能力到達度指標 (CEFR-J)』の開発を踏まえて、日本の英語教育における試みについてお話しいただきます。山内博之先生には、課題遂行能力養成を目指す教材開発や教育実践において、語彙や文法といった言語素材がどう位置づけられるべきか、お話しいただきます。その後、[セッション1]の発表者も交えて今後の可能性について議論します。

- 英語教育における課題遂行能力の養成 (投野由紀夫／東京外国語大学)
- 課題遂行からみた言語素材 (山内博之／実践女子大学)
- 討論

登壇者：投野由紀夫・山内博之

来嶋洋美・磯村一弘・藤長かおる

モデレーター：横山紀子

17:00 閉会

国際交流基金は「相互理解のための日本語」という理念のもと、2010年に「JF 日本語教育スタンダード」を発表しました。また、その理念を日本語教育の現場で実現するために、「スタンダード」に準拠した教材『まるごと 日本のことばと文化』の開発を行っています。

今回のシンポジウムでは『まるごと』の開発の狙いとその教育実践の紹介を通して、課題遂行を出発点とした言語学習デザインを検証します。

また、外部の言語教育専門家にも議論に加わっていただき、この言語学習デザインの日本語教育における意義と可能性を皆さんと共に考える機会にしたいと思います。

